

SCでの周辺帰宅困難者対応

駅前型SCの立地を活かす取り組み：S県K市、C県K市

2017年3月18日(土)

発表者 森 隆志

目次

2

1. 3・11そのとき !
2. 行政に相談してみた !
3. SCはイベント広告で動員、集客!
4. 地域課題への取り組み・・・ソーシャルビジネス?
5. SC・・・クライシスマネジメント?
6. 協定締結 の2つのケース
7. 締結までの道のり
8. SCのインフラ化?

3・11の現実を見たその時何かできない？

S県K市でのケース(2011年3月11日)

- 駅前にあふれかえる人、人、人
- ビルの営業中止
- 計画停電も頻発しながら営業を継続
- 飲食料は品切れ続出
- ビルもほぼエリア5強ながら被害は軽微
- お客様、スタッフの人的被害もビル外への避難誘導がされ幸いにケガ人無し

C県K市での場合(2016年9月)

- 駅前アクセスの好立地であるが現状対策。
- K市の担当課は、民間からのこの機会を待ち望んでいた。
- 他の商業施設へも打診し波及させたい。
- 広域連携も視野に入れて動き出したい。
- K市の場合は7か月のスピードで協定締結に向けて最後の詰めを協議中。

自治体に相談

4

- 市内域に被災地を抱え
- 担当者の優先順位から漏れた？
- 行政も民間も想定を超える事態
- 繰り返し訪問するも.
- 今までのしくみ方法が全く役に立たない

販売促進策で集客、イベント開催で さらに楽しさを演出！

5

多くの人々が集まる中での大災害のリスクコントロール

- デベロッパー
- リスクスタッフ
- テナント

を有効に機能作用させて、万全の体制づくりが求められる。

SCの地域課題への取り組み⁶

便利さや豊かさを提供してきたが、安心や安全も仕入先選定、販売に関する限定的な分野でしかなかったかもしれない。…ソーシャルビジネスへの挑戦！

これからは

▲大災害時

●子育て支援

●認知症

●精神、身体障害者等

●買い物支援

●地域内交流(祭り)

●小中高大交流

●その他、

SCにクライシスマネージメント力⁷ が最大限求められる！？

リスクコントロール、リスクマネジメント災害時のクライシスマネージメントが今まさに適切に対応できる能力が求められる！

- お客様、
- 地域、学校
- 消防、警察、
- 自治体の協同で繰り返し訓練をおこなう。……………さらに広域連携訓練も必要！

2市の取り組みをしてみたが

S県K市の場合は

- 被災地を市内に抱えていて未然の大事故ですべてが初めての対応・・・
- 市のOBを頼りに粘り強く交渉
- 事務局の人員不足も感じた。

4年 <受け身>

C県K市の場合は

- 被災地ではなく直接被害がなし。
- 市側のコンタクトも取りやすく、訪問すると話がどんどん進む。
- 民間との取り組みを市側も待ち望んでいた。

7か月調印3月末? <積極的>

自治体との協定締結の基本スタンスは まず走り出して民間側から声をだしてみた。

9

①軽く考えよう！

- ・支援は基本1日限り(一晩)
 - ・SCの可能な範囲で協力すればよい。
 - ・備蓄品(毛布等)保管場所の無償提供
 - ・スペース空間を確保し無償提供。
 - ・トイレ使用可能な場合無償提供
 - ・受け入れゾーンの運営は市側と協力して
- 互いに住民の為にフォローしあう。

②走りながら検討を重ね！

SCは
場所の提供、受け入れゾーンの運営
行政は、
費用の負担及びSC従業員の従事中のけが等の補償等は公務災害補償条例を適用。
他に
・受け入れゾーンを商業施設のイベント等の
開催場所でもある広い空間の為XX場所と
固定せず、SC内とした。

③完璧に固められない！

- ・備蓄品のアイテムは少し難航するも方向性は一致
(毛布x100枚) (食料x300食)
仮設トイレx1基 位で
 - ・近々市側と記者発表を行う予定。
 - ・協定期間は1年
- **未解決****
SC内テナント商品が予期せぬ盗難に対する補償問題

将来像・・・もっとSCのインフラ化！

■毎日の暮らしに必要

■大災害でも役に立つ

■地域行政と連携のとれたインフラSC

■連携(ゆるやか・緊密)

- 学校(小中高大)
- 幼稚園、保育園
- 民間企業
- 行政
- 地域自治会
- 広域連携
- その他